

妊娠の報告

2004年1月24日(土)

今日、しばらくぶりに来られた患者さんから、「妊娠した」との報告を受けた。

この患者さんの主訴は、幼少期からの喘息とアトピー性皮膚炎で、吸引ステロイド剤などを長く使用していたが、ファミリーカイロに通院するようになり、それも止めて、かなり改善されていた。

今日は、顔のアトピー症状がぶり返して来院した。

この患者さんには、さまざまなアレルギーと感情ストレス開放の治療を行った。

アレルギーの検査の中に、男性ホルモンに対するアレルギーが検出され、テストステロンというホルモンと精子のアレルゲンでも治療を行った。

治療する前は、男性の精子に対してアレルギー反応があったので、子供ができないはずである。

その後、ご主人も治療に来られ、二人の波長を合わせる治療も行う。

逆計算すると治療で男性ホルモンや男性自身への反応が改善された後に妊娠している。

今、不妊の原因もさまざまであるが、通常、男性ホルモンや精子に対してもアレルギーがあるという認識はほとんどないだろう。

偶然かもしれないが、恐らく治療の効果があったに違いないと思う。

ファミリーカイロに夫婦で通院されて、途中で妊娠されるケースも少なくはないようにも感じる。

西洋医学とは異なる角度から不妊の原因を追求していくことも、世間には必要なはずだ。